

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスあるふぁ、あるふぁ(児童発達支援)				公表日	2026年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2フロアを設定し、「静の活動」「動の活動」の場として分けて支援を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定数配置ができています。プラスアルファの職員配置も時々実施している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		自立に向けた配置を意識している。 (やってもらうのではなく、自身でできるような環境作り)			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○	その時々で、過ごしやすいように配置の変更なども行っている。	作品展等で物が多くなると少し手狭になることもある為、そういった時の設置等も配慮していきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室は設置しており、声をかけてから使用することを伝えているが、実際に使用する様子は見られない。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		主に常勤職員間で話し合いを行い、非常勤職員に報告する形となっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	検討している段階。	実施は出来ていない為、今後実施に繋げていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回程度、研修の実施を行っている。今期は分野ごとに役割分担を行い、その内容について研修を行っている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIに掲載を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		可能な範囲で職員が集まり実施している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の記録を計画を基にした書式にし、意識しやすいようにしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	少人数の為、常勤職員間で行い、非常勤職員に伝達している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		静の活動、動の活動に分かれての実施、その他作品展に向けた準備や行事毎の活動等、様々な内容を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		主に静の活動は「個別」、動の活動は「集団」として設定している。 (内容によってはその限りではない)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	退勤時間が異なる為、翌日の支援前に実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	○	自己選択だけでなく、選択するまでの確認等もなるべく自己で行えるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心に、必要に応じて現場職員が参加することもある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接的な関わりがないところに関しても、資料提供し、保護者を通して連携を実施することもある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	そのことを目的とした会議等は実施していない。モニタリング等で話をした際に、就学前の様子なども確認している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行時に情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	モニタリング時に、話をしたりする機会はあるが、研修としては実施できていない。	必要に応じて検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	公園などの社会資源は活用し、その中で交流があった際には、関わりを持つこともある。	地域の子どもと関わる為の活動としては設定できていない。要望等がある場合には、検討していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○		調べているが、参加に至っていない。今後参加に向けて行動していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修の実施は行っていないが、各所の見学案内や提案などは積極的に行うようになっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童、保護者それぞれと面談を実施し、意向等を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得て実施している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の実施や帰りの送迎時、連絡帳等、様々な場面やツールを活かし、話しやすい環境に配慮している。	今後も希望があった際には、可能な範囲で検討していきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	作品展を通して、各家族との交流を図っている。	会としての実施は行っていない。今後、要望等がある場合には、検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		早い段階での疑問や投げかけをしていただいている為、すぐに対処ができています。児童からも「こうしたい」と言ってくれる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	SNSで活動報告は掲載している。(不定期)行事や祝日予定などは写真を用いて連絡している。	定期の通信は発行できていない。必要に応じて検討していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類だけでなく、SNSの取り扱いについて特に意識している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		対象児童、保護者の方々に、話しやすい環境に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	自治会への加入、近隣の方との挨拶等は行っている。	行事への招待は実施していない。今後、必要に応じて検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に基礎台帳を記入してもらい、必要に応じて保護者に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書を直接もらってはいないが、各保護者と確認を行って食品提供等を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		HPに掲載を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		報告書をあげ、事実や再発防止の共有を行っている。	件数が少ない為、積極的にあげていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施している。	今期は新規採用がないが、今後あった場合には入職時にも研修を実施していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	-	-	マニュアル策定はしているが、今期は実施していない。	-	